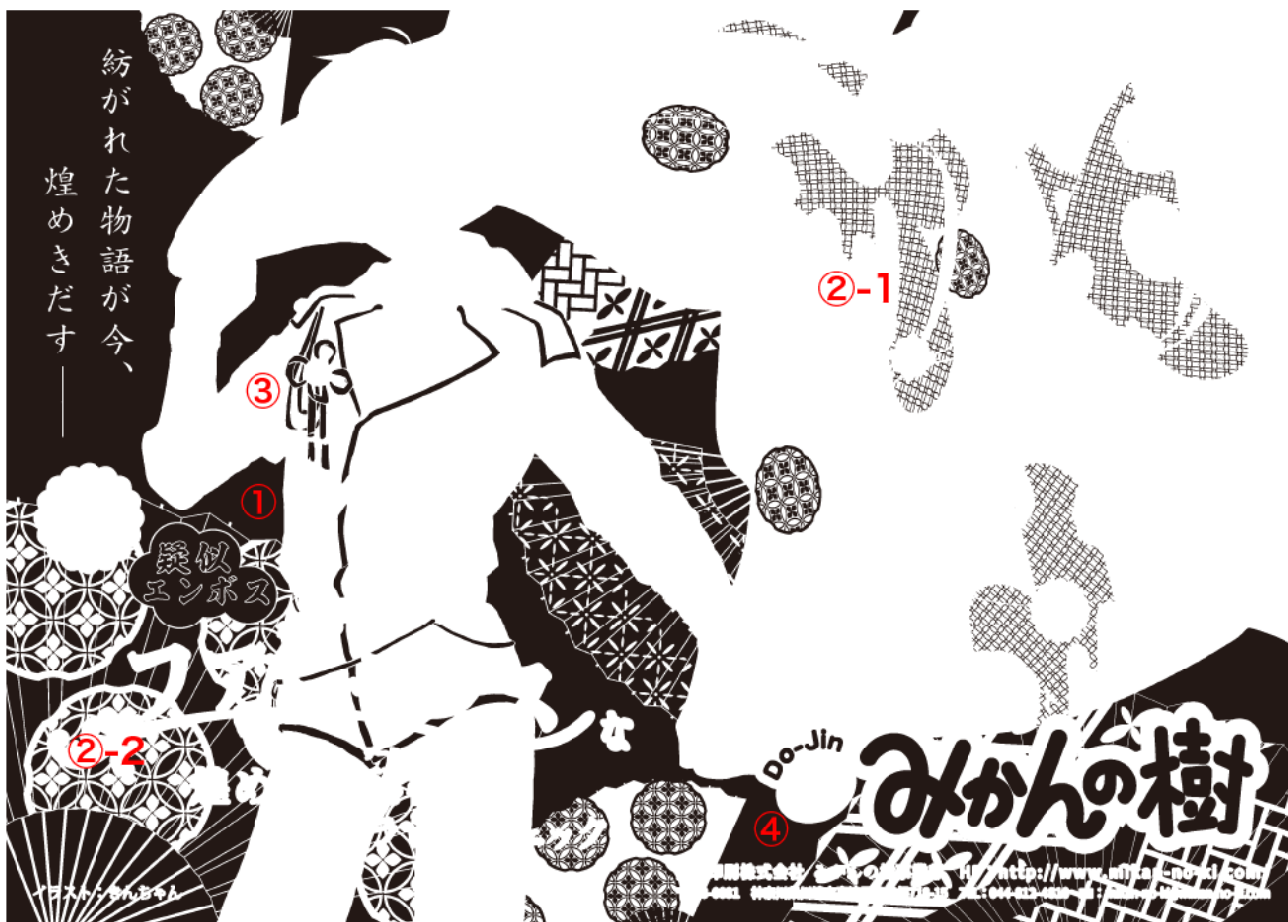


CMYK データ



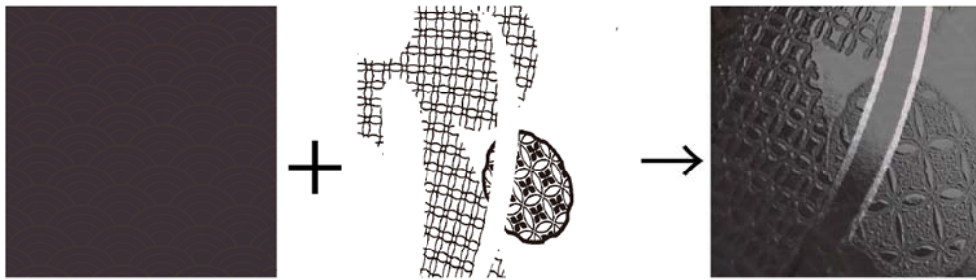
疑似エンボスデータ



- ①背面にベタで指定し、広範囲をザラザラに  
→特殊紙っぽくなる



- ②細線での表現も可能  
→光の加減で見えたり見えなかったりする柄に  
パターン1：疑似エンボスで柄



- パターン2：疑似エンボスの地×ツルツルで柄



- ③布等、ザラザラした部分に指定  
→質感表現（今回は紐部分に指定しました）



- ④ツルツル部分の方が若干浮いて（目立って）見える  
→文字部分等、目立たせたいところはツルツルのまま





## 疑似エンボスデータ作成の注意

- ・ **ザラザラさせたい所を黒く**する。
- ・ **グラデーション、中間色は NG** です。  
※疑似エンボスは2種類のニス<sup>①</sup>の化学反応を利用します。  
ニスを乗せるか乗せないか、ザラザラかツルツルかの二択です。
- ・ 紙の地の質感は残りません（上記の理由と同じ）。
- ・ データはグレースケールモード、  
カラーデータと同じサイズ、同じ解像度で作る。

## 中の人からのワンポイントアドバイス

- ・ ベタで指定した場所のザラザラ感は一定ですが、  
素材（テクスチャ）を落としこむと凹凸の加減が  
変わって見えます。ザラザラの表情も多種多様です。



←例

ザラザラした紙をスキャン  
→レベル補正  
→モノクロ二値化した  
手製のテクスチャ

コミスタやクリスタのトーンを使っても  
面白いよ (>ω<)

- ・ 文字はツルツルの方が浮いて（目立って）見えます。  
※好みですので、しなければいけないわけではありません。
- ・ 特殊紙っぽいのにキャラクターはツルツルで浮いて見える  
（特殊紙に写真を貼ったような）表現もできます。
- ・ 触り心地だけでなく、光を当てた時の表情も楽しいです。
- ・ わからないまま作業せず、早めに相談しましょう。  
どうなるかわからないから試してより良くするための  
**本機校正（実際の紙と印刷機で試し刷り）**です。  
有効活用してくださいね（`・ω・`）b
- ・ 色々作っていると、箔以上に面白くなってきます。  
是非楽しんで作ってください。